

2011年
新春座談会

南部町を 再発見する



(会場:緑水園)

左から
坂田悦男・まき子夫妻(東町)
藤原清道・榮子夫妻(円山)
立見正行・律子夫妻(赤谷)

坂本昭文 町長
司会/野口隆寛
(なんぶSANチャンネル)

長い間暮らしていると当然と思える風景は、実は貴重な自然物で：
今回は町外から南部町を定住先に選ばれた3組のご夫婦と坂本町長
が、南部町の魅力、そして今後の課題などについて語り合いました。

「大山が目の前に広がる光景」

— 定住のきっかけ

野口 新年明けましておめでとう
ございます。今年の新春対談は、長
い間住んでいると気付かない南部
町を知ると言うことで、他の地域か
ら南部町に住まいを構えられた3
組のご夫婦と坂本町長にお話を伺
います。早速ですが、皆さんはどう
いうきっかけで南部町を選ばれた
のですか。

坂田悦男 私は広島からの転勤で、
昭和52年に米子勤務になり土地を
探していました。ちょうど東西町に
団地ができた頃で、大山が目の前に
広がる光景に惹かれて購入しました。
その後、転勤で30年間広島に住み、
定年退職を機に1年前にこちらに
帰ってきました。

立見正行 以前住んでいた中津川
の家を大幅に改築することになり、
家庭菜園をするのにもう少し広い

所がないかなと探していました。イ
ンターネットで今の家を見つけ、失
礼ですが田舎のわりに大きな病院
はあるし、地域医療に力を注いでい
るとサイトに書かれていたので、一
回見てみようというのがきっかけ
です。

藤原清道 当時住宅を探しており
まして、知人からの紹介で越してま
いりました。通勤に10分という近い
所でしたし、当時は国道も鉄道もな
かったのですが、裏を返せば、国道
がなければ渋滞もない、鉄道がなけ
れば踏切事故もないだろうという
考えもありました。

「当たり前前の自然が贅沢ですね」

— 南部町の良いところ

野口 私たちは長い間町内に住ん
でいると、良い面に気付いていない
こともあると思います。皆さんは実
際暮らしてみていますか。

立見正行 まず第一に自然が豊か